

教育委員会11月定例会 会議録

1 開催日時 令和3年 11月 5日（金） 午後3時から午後4時20分

2 場 所 教育委員会室

3 出席委員

教 育 長	丸 山 陽 一
同職務代理者	近 藤 守
委 員	倉 石 和 明
委 員	塚 田 まゆり
委 員	茅 野 理 恵

4 説明のために会議に出席した者

教 育 次 長	樋 口 圭 一
教 育 次 長	勝 野 学
参 事 兼 学校教育課長	上 石 秀 明
教育次長副任兼 総 務 課 長	藤 澤 勝 彦
保健給食課長	丸 山 英 樹
家庭・地域学びの課長	小 池 秀 一
文化財課長	前 島 卓
学 校 支 援 官	酒 井 好 和
総務課長補佐	石 坂 陽 子
家庭・地域学びの課長補佐	前 田 大 吾

5 書 記

総 務 課 庶務担当係長	和 田 美 香
-----------------	---------

丸山教育長が開会を宣した。

<教育長あいさつ>

市長選挙も終わり、荻原新市長の初登庁は来週の11日である。新市長の政策のうち、教育・福祉、子育て分野の中では、「子どもたちの夢を応援するまち長野」として、オリンピックを発祥とする一校一国運動の原点に戻って、世界中の国や地域の学生たちとの交流をはじめ、子育て総合センターの開設、貧困世帯の子どもの学習支援、GIGAスクールの一層の推進、いじめや不登校、児童虐待への対策強化といったものが掲げられている。11月2日には東部中学校でキャリア教育の催しを視察されるなど、既に新しい市政運営に向けて動き出されている。教育委員会としても、再来週に新市長への事務事業の説明会を行い、その際に市長のお考えや思いをお伺いして、施策の実現に向けた検討を進めてまいりたいと考えている。

<協議事項>

協議1号「第三次長野市教育振興基本計画（案）について」

協議3号「第三次長野市生涯学習推進計画（案）について」

同じ計画策定委員会の中で進めていることから、丸山教育長が併せて事務局に説明を求めた。

藤澤教育次長副任兼総務課長が協議1号を説明した。

- ・2月16日に第1回の策定委員会を開催したのち、専門部会を含めて7回の策定委員会を開催した。今般、中間答申ということで資料をお配りした。
- ・10月の教育委員会勉強会で出た意見を、策定委員会で議論・修正した箇所について説明した。
 - ・施策1-1-2 働き方改革の推進について、表題の付け方
 - ・基本施策1-3 インクルーシブという言葉の意味について
 - ・施策2-1-1 家庭の教育力の在り方について
- ・今後、11月26日総合教育会議で協議し、11月29日部長会議で計画案とパブリックコメントの実施について決定。12月6日から1月5日にパブリックコメント募集、1月下旬に策定委員会で最終答申、定例教育委員会、総合教育会議を経て2月半ばごろ、市として決定予定。

委員 （新しい）言葉が独り歩きし、（捉え方が）偏ってしまわないか心配していた。3ページ、人口減少と少子高齢化の中で、「子どもが主役」の豊かな環境づくりをしていく、学びの保障を推進という施策が基本的方向にひとつひとつ含まれているという解釈で良いと思う。技術革新についても、子どもたちの学習環境、主役になる学びの推進、技術的な新しい教育の在り方を求めていく、また多様化、家族の変化や社会の変化の中で人権感覚をもっと高めていく、これらは教育委員会だけではなくて多様な主体と協働してやることを、最初に書いてあるので良いと思う。

丸山教育長

4ページの（4）協働の2段目は新しく入れたものか。

藤澤教育次長副任兼総務課長

以前は「各主体が個々に活動するだけでは」という書き方であったが、学校が本来やるべきなのではないかと捉えられかねないこと、また学校だけ行政だけでは難しいということを強調した。

委員 新市長の施策と合うようにということを念頭に置いて作られているだろう。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

続けて「協議3号」について、丸山教育長が事務局に説明を求めた。

小池家庭・地域学びの課長が計画（案）の概要で説明した。

- ・第二次計画より新たに加わったものや、10月の教育委員会勉強会で出た意見を、策定委員会で議論・修正した箇所について説明した。
- ・第2編 計画の推進
- ・ライフステージをつなぐ多世代の学びの機会の充実
- ・持続可能な産業振興のための学習機会の充実
- ・電子図書の導入
- ・地域活動への支援（支援金・補助金・電話相談・情報提供）
- ・総合型地域スポーツクラブやスポーツ施設の新規参加者の獲得とスポーツ実施率の向上の推進
- ・SDGsへの取組や環境教育の充実
- ・「心のバリアフリー」という言葉の追加
- ・「セクシャルマイノリティ」の取組
- ・「食品ロス削減」という言葉の追加
- ・消費者関連情報の提供・発信 「エシカル消費」という言葉の追加
- ・市立公民館・市交流センター主催講座における地元講師の活用
- ・こども広場、子育て支援センター等、気軽に親子の交流、子育ての情報提供や相談ができる場所の提供
- ・主な取組の目標値

今後、教育振興基本計画と同じ日程で策定を進めていく。

委員 今後20年間は、長野市の中で高齢化率が高まっていく。高齢者の就労や生涯学習もそうだが、認知症についても社会参加している方が予防になる。高齢者が生き生きと活動できるような社会が、医療費や介護費の削減にもつながる。保健福祉部とも連携して、力を入れてほしい分野である。

小池家庭・地域学びの課長

実際、公民館事業の中で重点にしているのがフレイル予防と地域づくりである。福祉関係からも連携について声がかかっているので、今回の計画の重点として取り組んでまいりたい。

委員 孤立をさせない。地域の中のコミュニティをつくっていくことが大事である。

委員 学んだことを生かし、更に高齢者が活躍できる機会をつくってほしい。

サンライフ長野の指標について、他の施設が無くなってしまうことで絶対数が増えることが想定されるが、この指標でいいのか。

小池家庭・地域学びの課長

サンライフ長野の部分は再検討したい。

高齢者が学んだ後、次の講師になるなど（リーダーズバンクへの登録）、活躍の場を考えていきたい。

委員 LINEはあらゆる世代で利用されている。公民館などの講座のお知らせやパブリックコメントなどもLINEを利用し、ホームページに飛ぶようにしておくことで意見の吸い上げができるのではないかな。

委員 目標値1の中で、令和元年の実績値から令和8年の目標値が下がっているのは、

なぜか。

前田家庭・地域学びの課長補佐

保健センターの令和元年の受講割合が特別高かった。目標値は5年間の平均で求めている。令和元年の実績に上積みしてしまうと達成不可能な数字になってしまったので、この数値にした。

丸山教育長

（目標値）公民館の29館という書き方は分かりにくい。29館は全館か？

委 員 全館ならば、100%とした方が分かりやすい。

委 員 家庭・地域学びの課の施策が網羅されている。人生100年時代の中で、高齢者、子どもたち、そして青年期へかけての孤独についても、「協働」という言葉のとおりに、様々な機関に働きかけながら支援をするようになっている。教育振興基本計画の基本的方向との関連も深いので、家庭・地域学びの課だけでは難しい部分は、教育委員会や他部がどう協働していくかを説明しているのが、教育振興基本計画であるとよい。それが子育て支援、総合センターというところに繋がっていくと考える。

藤澤教育次長副任兼総務課長

別の主体との連携協働を織り込んだ文言を考えたい。

丸山教育長

市長部局でもそれぞれ色々な計画を立てているので、それらとの調整が大事だと考える。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

協議2号「令和4年度長野市立長野高等学校募集定員について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

上石参事兼学校教育課長が説明した。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

協議4号「長野市立鬼無里公民館中央分館の廃止について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

小池家庭・地域学びの課長が説明した。

- ・鬼無里公民館本館の一室が中央分館であり、本館の老朽化、利便性の向上、また住民からの要望で、活性化センターと集約するため移転をし、それに伴い中央分館は廃止するもの。鬼無里には、他に分館が2つあるがそれについては継続する。

委 員 地域の方が使いやすくするために、本館に統合するという意味だと考える。廃止するというのが前面に出てしまっているので、他の言い方の方がいい。

丸山教育長

条例はどのようなになっているか。

小池家庭・地域学びの課長

条例は廃止ということになっている。意味合いは、分館が本館と一緒にすることである。

委 員 説明する時には、移転に伴って廃止とか違う言い方の方がよい。

委 員 統合に伴う廃止という言い方の方が、発展的意味合いになるのではないか。

丸山教育長

少し文言を検討していただきたい。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

<一般行政報告>

報告1号「真田信之松代入部400年記念事業について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

前島文化財課長が説明した。

- ・真田信之が上田から松代に入部して400年となる令和4年にそれを記念して、松代の実行委員会と連携して、真田宝物館では記念展として「真田信之展」を開催するもの。
- ・真田信之肖像については、東日本初公開である。
- ・期間中、入場料を200円値上げする。長野市民は割引券配布により従来どおり。子どもは料金据え置きとする。
- ・「長野市歴史まちづくりシンポジウム 地域を元気にする歴史まちづくり」11月25日開催についてお知らせした。

<その他>

- 教育委員会の主催、共催及び後援事業について（藤澤教育次長副任兼総務課長）
後援事業22件（名義のみ 賞状交付1件）

- 長野市子どもの貧困対策計画策定に係る子どもの生活状況に関する実態調査
（上石参事兼学校教育課長）

- ・子育て支援課の事業であるが、情報共有としてお知らせするもの。アンケート調査の目的、対象者、考え方について説明した。

委員 高校までは把握できるが、それ以降はどこかで実態把握をしないといけない。ひきこもりなど青年も含めた把握。

上石参事兼学校教育課長

以前にもそのような話があり、調べたところ39歳くらいまで支援している自治体が多い。その場合、長野市でいうと、こども未来部や教育委員会が行っているところもあった。

委員 このような調査は前にもしたことがあるのか。

上石参事兼学校教育課長

令和2年度に国の施行調査で中学2年生対象、平成29年度は、県の小5・中2を対象とした調査があった。負担感がないように調査項目について、こども未来部も考えたようである。

丸山教育長

GIGAスクールのタブレットを使えばすぐに回答が集まるのではないかな。

上石参事兼学校教育課長

これは、学校を介さず郵便で調査しているものである。

委員 これはこども未来部で行っているが、情報共有した方がよいということで説明していただいた。

委 員 タブレットを渡して教育委員会が協力すれば、学校の子どもたち全員からアンケートを取れるのではないか。

委 員 そういう協働体制を今後つくっていくことが大切だと思う。

丸山教育長

もっと協議は必要になるが、せっかくタブレットなど配備しているのでうまく使えとよい。

委 員 集計ソフトを使えばすぐにできるのでは。

委 員 今後は、アンケートを作るときにどのようなものにするかを、こども未来部だけでなく教育委員会や保健福祉部も参加していく必要がある。

次回以降の日程確認（藤澤教育次長兼総務課長）

12月定例会 12月1日（水）午後3時から 教育委員会室

1月定例会 1月5日（水）午後1時から 教育委員会室（会后、市長との懇談）

丸山教育長が閉会を宣した。

令和 年 月 日

会議録署名委員

教育長

同職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員